

1998年度 第3号目次

- (1) 7月例会・山岳永久凍土研究グループミーティングのおしらせ
- (2) 寒冷地形夏の学校・山岳永久凍土研究グループ巡検のお知らせ
- (3) 会費納入のお願い

(1) 寒冷地形談話会7月例会・山岳永久凍土研究グループ第1回ミーティングのおしらせ

日時：1998年7月4日(土)

場所：国立極地研究所研究棟2F講義室

・地下鉄(都営三田線)「板橋区役所前」駅下車、A1出口徒歩10分

・JR埼京線「板橋」駅下車徒歩15分

極地研への行き方はホームページ(<http://www.nipr.ac.jp>)の案内図を参照してください。

プログラム：

10:00-12:00 永久凍土探査法に関する討論・実習

13:30-15:30 研究計画・経過発表

石川 守(北大・院) 「大雪山における周氷河現象と広域BTS測定結果についてー山岳永久凍土分布モデルにむけてー」

福井幸太郎(都立大・院) 「飛騨山脈立山の永久凍土環境」

青山雅史(都立大・院) 「化石岩石氷河の認定についての問題点」

池田 敦(筑波大・院) 「岩石氷河の化石化に伴う形態変化ースイスアルプスの事例ー」

15:40-16:30 コメント・報告

渡辺悌二(北大) 「ヒマラヤの岩石氷河」

三浦英樹(極地研) 「南極の岩石氷河」

松岡憲知(筑波大) 「第7回国際永久凍土会議(カナダ)報告」

16:30 総合討論

(2) 寒冷地形夏の学校・山岳永久凍土研究グループ巡検のお知らせ

1998年8月23日(日)ー26日(水) 南アルプス間ノ岳・三峰岳

講師：松岡憲知先生(筑波大学地球科学系)

日程：

23日 夕方までに農鳥小屋集合

24日 テーマ：凍結融解プロセス(岩盤破壊・落石・凍上・斜面物質移動)

25日 テーマ：岩石氷河と氷河地形

26日 解散

アプローチ：広河原ー北岳山荘ー間ノ岳ー農鳥小屋(6-10時間)が一般的。自家用車の場合、夜のうちに広河原まで来て早朝に登り始めるのが便利。健脚ならば東京を朝一番の特急電車を出発しても夕方小屋に到着可能(ただし標高差1,700m)。

宿泊：農鳥小屋(二食寝具付、特別価格の予定)。

温泉：甲府方面は芦安、身延方面は奈良田。

用意するもの：昼食、地形図1:25,000「間ノ岳」、ほか登山必需品。

参加希望の方・質問のある方は8/17までに松岡憲知先生

(筑波大学地球科学系；[matsuoka@atm.geo.tsukuba.ac.jp](mailto:matsuoka@atm.geo.tsukuba.ac.jp))へご連絡ください。

ただし、7/11-8/14は不在です。

### (3) 会費納入のお願い

前号でもお知らせしましたが、今年度の会費の納入をお願いします。前年度と同じく会費は郵便局の振り込みをお願いします。なお、前号の封筒の宛名書きのタックシールに記載されている数字は、会費未納入の年度です。96、97と記されている場合は96年度・97年度が未納ということです。3年間会費未納の方は通信の発送を停止しますのでご了承ください。

寒冷地形談話会 00100-9-171342 1,500円/年です。

---

事務局：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1  
東京都立大学地理学教室寒冷地形談話会事務局  
TEL. 0426-77-1111 (EXT. 3836)  
e-mail : aoyama@geog.metro-u.ac.jp  
URL : [www.comp.metro-u.ac.jp/~sugimoto/kanrei/](http://www.comp.metro-u.ac.jp/~sugimoto/kanrei/)

---